

令和5年度第1回

北海道 文化財保護審議会

日時：令和5年5月19日（金）10時00分～

場所：道庁別館 7階教育委員会室
（札幌市中央区北3条西7丁目）
：Web会議システム（Zoom）

会議次第

1 開 会

2 挨拶

3 議 事

(1) 報告事項

ア 文化財の指定（登録）の状況について

イ 縄文遺跡群の学校教育への活用について

ウ 北海道内の埋蔵文化財調査により発見された遺骨等の取扱方針
について

4 閉 会

令和5年度第1回北海道文化財保護審議会出席者名簿

1 委員

区分	役職	氏名	所属等	出席	摘要
学 識 経 験 者		内田 祐一	文化庁アイヌ文化振興調査官	○	
		北村 清彦	北海道大学名誉教授	×	
		熊木 俊朗	東京大学大学院常呂実習施設教授	○	
		白木 彩子	東京農業大学生物産業学部准教授	○	
		鈴木 明彦	北海道教育大学札幌校教授	○	
	副会長	角 美弥子	北海道教育大学岩見沢校准教授	○	
		瀬川 拓郎	札幌大学教授	×	
		谷本 晃久	北海道大学大学院教授	○	Zoom参加
		中島 宏一	北海道開拓の村館長（学芸員）	○	
		並川 寛司	北海道教育大学名誉教授	○	
		羽深 久夫	札幌市立大学名誉教授	○	
	会長	森 雅人	札幌大谷大学教授	○	
		山本 亜生	小樽市総合博物館主査（学芸員）	○	Zoom参加
行政		近藤 昌幸	北海道森林管理局計画保全部長	○	

2 事務局（文化財・博物館課）

所属名	職名	氏名
北海道教育庁生涯学習推進局	局長	村上 由佳
北海道教育庁生涯学習推進局 文化財・博物館課	課長	高見 里佳
	課長補佐（文化財保護係）	本間 雅章
	課長補佐（文化財調査係）	藤原 秀樹
	係長（文化財保護係）	小松 靖知
	主査（文化財保護係）	菊地 梢
	専門主任（文化財保護係）	内田 和典
	主任（文化財保護係）	岡崎 智也
	主事（文化財保護係）	青山 桃子

- ア 文化財の指定（登録）の状況について (報告資料1)
- イ 縄文遺跡群の学校教育への活用について (報告資料2)
- ウ 北海道内の埋蔵文化財調査により発見された遺骨等の取扱方針について (報告書料3)


ア 文化財の指定（登録）の状況

登録有形文化財

1 銀鱗荘旧本館（旧猪俣家住宅）

所在地	小樽市
所有者	株式会社ニトリ
登録基準	国土の歴史的景観に寄与しているもの
概要	 <p>石狩湾を望む丘陵の一角に建つ。開道70年を機に移築した旧鯨漁家と、サンルーム等を備えた地階付平屋の増築部よりなる。</p> <p>移築部は木造二階建、平入、望楼付で、内部に二間半の神棚を祀る六間取り広間を設ける。</p> <p>豪壮な漁家建築を核とする近代の旅館施設。</p>
登録年月日	令和5年2月27日

2 グリル銀鱗荘（旧北海道水産記念館）

所在地	小樽市
所有者	株式会社ニトリ
登録基準	国土の歴史的景観に寄与しているもの
概要	 <p>銀鱗荘旧本館の西側に北面して建つ。鯨の一時保管に用いた「廊下」を移築し、水産記念館として改装したもの。</p> <p>木造二階建、寄棟造妻入で、外装漆喰塗とし四周の虫籠窓風とする外観と太い軸部が重厚。</p> <p>本館と共に北海道水産業の繁栄を物語る記念碑的な建物。</p>
登録年月日	令和5年2月27日

道内の指定等文化財の総括表

(令和5年5月19日現在)

国 指 定		道 指 定	
種 別	指定件数	種 別	指定件数
国 宝	1		
重要文化財	建造物	有形文化財	建造物
	美術工芸品等		美術工芸品等
	美術工芸品等 (国保有)		
重要無形文化財	0	無形文化財	0
重要有形民俗文化財	4	有形民俗文化財	6
重要無形民俗文化財	2	無形民俗文化財	9
記念物	特別史跡	記念物	史跡
	史跡		名勝
	名勝		
	特別天然記念物		天然記念物
	天然記念物		
小 計	178 (うち国保有5件)	小 計	166
合 計		344 (うち国保有5件)	

選定	重要伝統的建造物群保存地区	1
	重要文化的景観	1

登録	有形文化財 (建造物)	146
	記念物 (名勝地)	1

縄文時代に学ぶ・世界遺産を活用した次世代育成事業について

児童生徒の遺跡への関心を高め、授業で活用することにより、歴史・文化の理解、郷土への誇りと愛着の醸成へとつなげるため、世界文化遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」の北海道内の構成資産・関連資産や出土品等を解説するデジタルコンテンツを作成し、当課のホームページに掲載した。

学んでみよう～北海道の縄文遺跡

URL:<https://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/147722.html>



○VRツアーデータ

360°カメラ及びドローンで遺跡を撮影。遺跡の景観や解説板を見ながら探索したり、竪穴住居の中に入ることができる。

(データを作成した遺跡)

函館市大船遺跡、伊達市北黄金貝塚、千歳市キウス周堤墓群、森町鷲ノ木遺跡

○出土品の3Dデータ

世界文化遺産の構成資産からの出土品を中心として作成したもので、画面上でいろいろな方向から出土品を見ることができる。

(データを作成した出土品)

足形付土版(函館市垣ノ島遺跡出土)、円筒下層式土器(函館市ハマナス野遺跡出土)、石棒(千歳市キウス周堤墓群出土)、土面(千歳市ママチ遺跡出土)、漆製品(恵庭市カリンバ遺跡出土)、鯨骨製匙形製品・鹿角製匙形製品(伊達市北黄金貝塚出土)、鐸形土製品(森町鷲ノ木4遺跡出土)、猪牙製品・円筒上層式土器・入江式土器(洞爺湖町入江貝塚出土)ヒスイ製勾玉(洞爺湖町高砂貝塚出土)



(VR) 伊達市北黄金貝塚の竪穴住居



(VR) 函館市大船遺跡のドローン画像



(VR) 森町鷲ノ木遺跡の環状列石



(3D) 足形付土版(函館市垣ノ島遺跡出土)

北海道内の埋蔵文化財調査により発見された遺骨等の取扱方針について

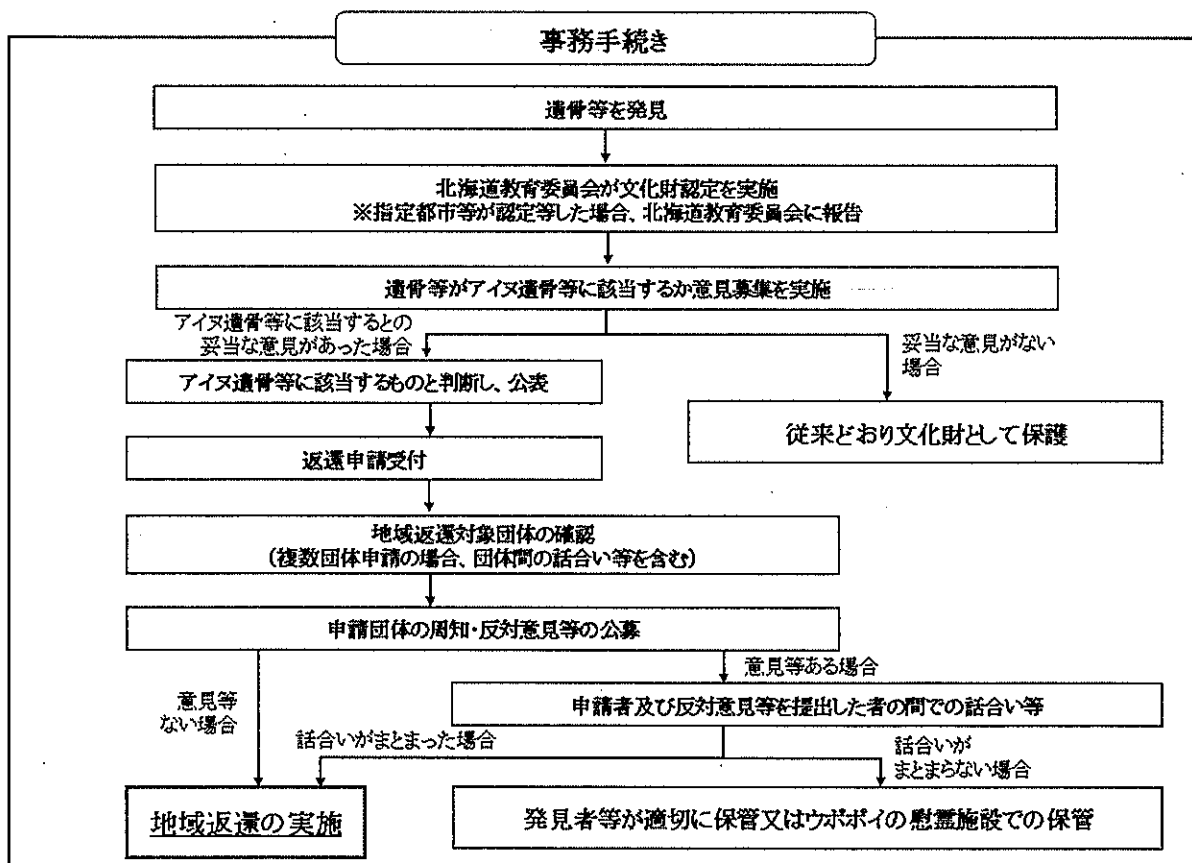
1 概要

- 「北海道教育委員会の保管するアイヌ遺骨等の取扱方針」（令和4年12月策定）に基づき、道立埋蔵文化財センターで現に保管する恵庭市出土の2体の遺骨等について、出土地域アイヌ関係団体への返還を実施予定。
- 令和5年3月、「北海道内の埋蔵文化財調査により発見された遺骨等の取扱方針」を策定し、今後発見される遺骨等の取扱いを決定。

2 経緯

- 平成17・19年：北海道（柏木川河川改修事業）の委託による財団法人北海道埋蔵文化財センターの埋蔵文化財調査においてアイヌ遺骨等を2体発見（恵庭市 西島松2遺跡）
- 令和2年1月：当該遺骨等が道立埋蔵文化財センターで保管されていることを文化庁が公表
- 令和4年7月：文化庁がアイヌの人々への返還を基本とする「取扱通知」を公表・通知
→「取扱通知」に基づき、恵庭市出土分の取扱方針案の意見募集を実施
- 令和4年12月：「北海道教育委員会の保管するアイヌ遺骨等の取扱方針」を策定
→恵庭市出土のアイヌ遺骨等の返還申請の受付を開始、出土地域のアイヌ団体より申請あり
- 令和5年3月：「北海道内の埋蔵文化財調査により発見された遺骨等の取扱方針」等を策定し、今後の調査で遺骨等が発見された場合の取扱を決定

3 北海道内の埋蔵文化財調査により発見された遺骨等の取扱方針の概要



4 今後の予定と課題

- ・ 恵庭市出土のアイヌ遺骨等は令和5年夏頃に地域返還を予定。
- ・ 今後の埋蔵文化財調査で新たに遺骨等が発見され、所有権が北海道に帰属した場合、アイヌ遺骨等に該当するか意見募集を実施。
- ・ 意見募集の結果、アイヌ遺骨等に該当する場合、恵庭市の遺骨と同じ手続きにより、地域返還を行う。